

1 三原小学校 研究構想

(1) 研究主題

主体的に学び合い、考えを深める児童の育成
—— 授業の展開に応じた「みはらミライの授業プラン」の活用を通して ——

(2) 研究仮説

授業展開に応じて「みはらミライの授業プラン（5つの手立て、効果的な学習ツール、学び合い、R80での振り返り）」を活用すれば、主体的に他者と学び合い、他者の考えを受け入れたり、他者の考えをもとに自己の考えをより深めたりすることができる児童を育成することができるだろう。

(3) 学習に関する課題

- ・提示された問題に対して思考はしているが、その深まりや変容に個人差がある。
- ・教師が児童の思考の深まりや変容を見取ることが難しい。
- ・学習に対する資質能力に個人差がある。
- ・全国学力学習状況調査や標準学力検査NRTにおける選択問題の正答率が低い。
また、条件付き作文など記述で解答する問題の正答率も低い。

(4) 研究推進の方策

①「みはらミライの授業プラン」を活用した実践

ア 単元開発・実践について

- ・授業研究を1人1回行い、教師の見取りと児童の自己評価をまとめる。
- ・相互参観を年間3回行い、学年間で「みはらミライの授業プラン」を活用した指導方法を共有する。

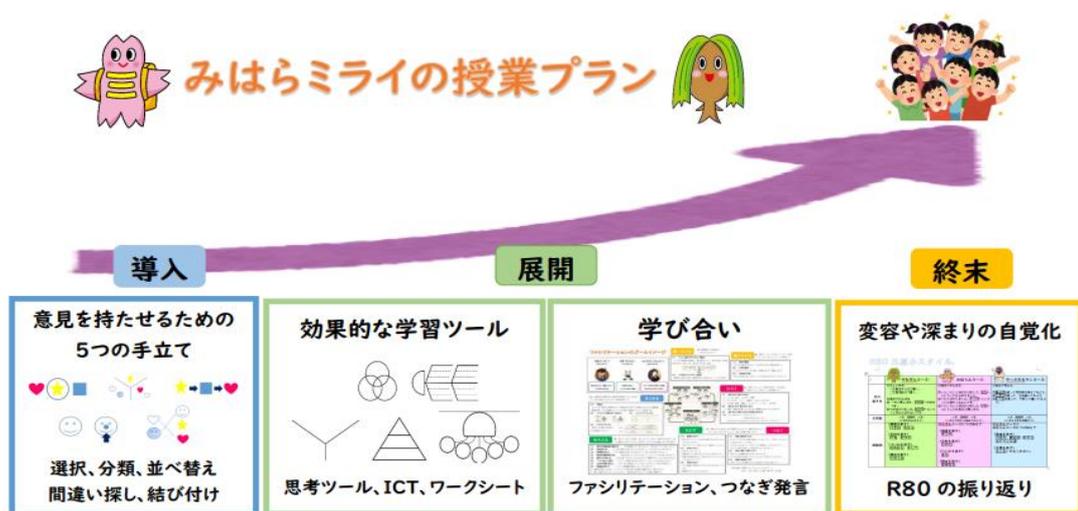


図1 みはらミライの授業プラン

イ 基礎・基本の習得と本校で育成を図る資質・能力の育成

- ・桜山タイム・柳の坂タイムを実施し、個別指導の時間を確保することで学力の定着を図る。
- ・学期末に校内漢字検定・算数検定を行い、目標をもって学習を進めさせる。
- ・各教科の授業で、目標と資質・能力を関連付けて意識させる。

②校内研修

次の内容について随時校内研修を行う。

- ・学習規律や教室環境の在り方（4月）
- ・「みはらミライの授業プラン」を活用した授業展開（4月）
- ・つなぎ発言の指導や教師のファシリテーションの在り方（4月）
- ・思考ツールや ICT 機器の効果的な活用（8月）
- ・Hyper - QU を活用した望ましい学習集団の育成（8月）

(5) 検証の指標及び達成目標

① 資質・能力に関する検証

ア 三原小つきたいカアンケート（年間4回）

- ・各項目の肯定的回答を80%以上にする。（2月）

② みはらミライの授業プランの有効性の検証

ア 研究授業後の教師の見取り（年間1人1回）

- ・本時の振り返りをもとに、思考が深まったり変容したりする児童を学級の80%以上にする。

イ 研究授業後の児童アンケート（年間1人1回）

- ・本時の授業で自己の考えに深まりや変容があったかどうかについて振り返り、自己の変容に気付くことのできる児童を学級の80%以上にする。

③ 基礎・基本の習得に係る検証

ア 学期末テストによる評価（年間3回）

- ・国語と算数の学期末テストで低学年は90点以上、90%以上、3年生以上は80点以上の児童を学級の80%以上にする。（毎学期末）

(6) 研究構想図

教育目標

みはらミライの挑戦 ～レッツ チャレンジ～

めざす子供像

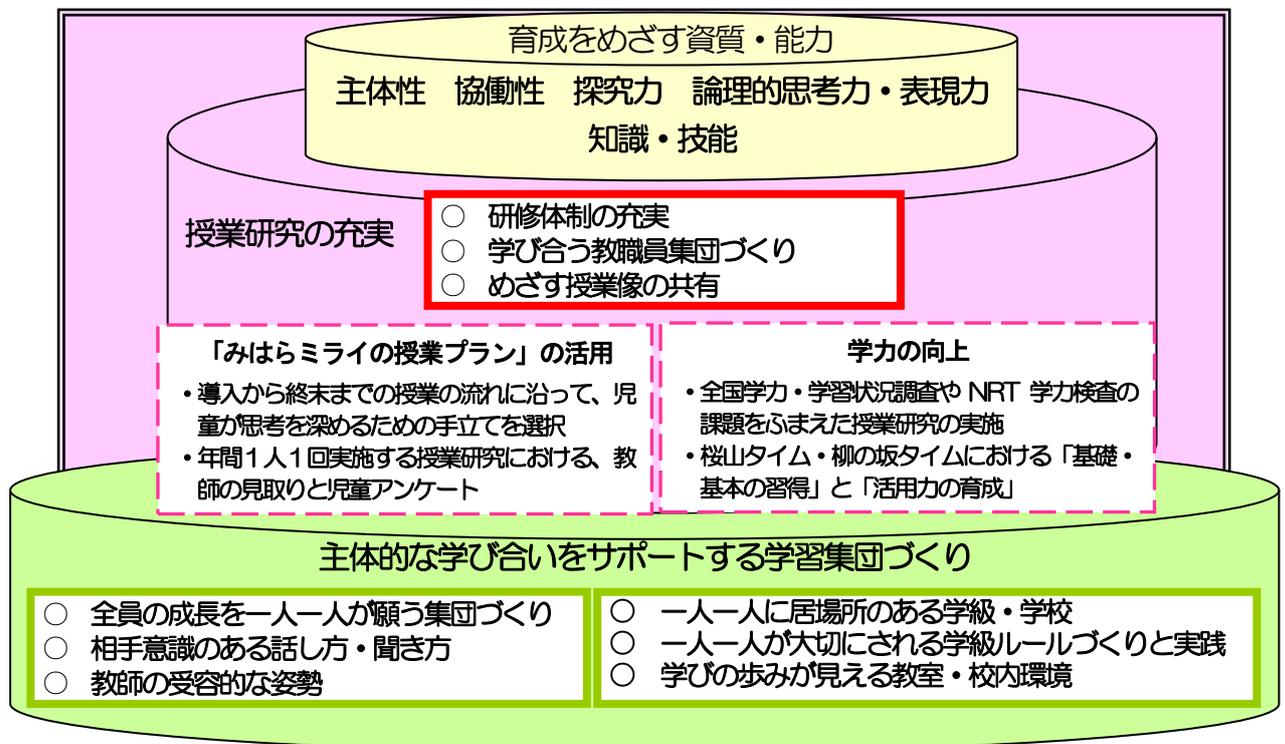
- 自分と人を大切にする子供
- 学び続ける子供
- ふるさと三原を愛する子供

研究主題

主体的に学び合い、考えを深める児童の育成
—— 授業の展開に応じた「みはらミライの授業プラン」の活用を通して ——

研究仮説

○ 授業展開に応じて「みはらミライの授業プラン（5つの手立て、効果的な学習ツール、学び合い、R80での振り返り）」を活用すれば、主体的に他者と学び合い、他者の考えを受け入れたり、他者の考えをもとに自己の考えをより深めたりすることができる児童を育成することができるだろう。



【検証の指標・目標】

- | | | |
|--|---|---|
| <p>① 資質・能力に関する検証</p> <p>ア 児童アンケート</p> <p>各項目の肯定的回答80%以上
〈アンケート項目〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能 ・探究力 ・論理的思考力・表現力 ・主体性 ・協働性 ・学び合い | <p>② みはらミライの授業プランの有効性の検証</p> <p>ア 授業研究後の教師の見取り</p> <p>振り返りをもとに、思考が深まったり変容したりする児童 80%以上</p> <p>イ 児童アンケート</p> <p>自己の考えに深まりや変容があったかどうかについて振り返り、自己の変容に気付くことのできる児童 80%以上</p> | <p>③ 基礎・基本の習得に係る検証</p> <p>ア 学期末テストによる評価（年間3回）</p> <p>国語（漢字のまとめ、学期末テスト）と算数（学期末テスト）で1・2年生は90点以上を90%以上、3～6年生は80点以上の児童を学級の80%以上</p> |
|--|---|---|



(7) 本校の全教育活動を通して育成をめざす資質・能力

三原小学校の教育活動全体で育成をめざす資質・能力を整理し、めざす姿を児童と共有する。

表1 三原小学校で育成をめざす資質・能力とめざす児童の姿の例

資質・能力		めざす児童の姿の例		
		1・2年	3・4年	5・6年
知識・技能	知識・技能	知識を身に付けている。課題解決の技能を習得している。	知識を関連付けて構造化している。課題解決の技能を習得し、学習の様々な場面で活用している。	知識を関連付けて構造化し、統合化された概念として理解している。課題解決の技能を習得し、日常の様々な場面で活用している。
	探究力	よさや問題点から問いをもち、課題を設定している。必要な情報を多様な方法で収集している。	よさや問題点から問いをもち、課題を設定している。また、解決への方法や手順を考え、計画を立てている。必要な情報を多様な方法で収集する中で、問いを解決したり、問いを更新したりしている。	よさや問題点から問いをもち、課題を設定している。また、解決への方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている。必要な情報を多様な方法で収集する中で、問いを解決したり、問いを更新したりしている。また、情報を評価し、足りない情報を収集している。
思考・判断・表現	論理的思考力・表現力	目的に合う方法で思考し、共通点や相違点を見つけている。相手や目的に応じて、事実や自分の意見を表現している。	目的に合う方法で思考し、共通点や相違点を見つけ、情報を精査している。相手や目的に応じて事実や自分の意見を効果的に表現している。	目的に合う方法で筋道立てて思考し、事象を比較したり、関連付けたりして、理由や根拠を表現している。相手や目的に応じて事実や根拠、自分の意見を効果的に表現している。
	主体性	自分で課題を選択し、課題を解決しようとしている。	自分で課題を設定し、課題を解決しようとしている。	自分で課題を設定し、目的に合うよりよい方法を選択して課題解決をしようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	協働性	友達と仲良く行動しようとしている。	友達と協力しながら行動しようとしている。	自他の意見を大切にし、よりよい解決に向けて、自分にできることを見つけて行動しようとしている。